

# 家庭医療専門医が精神科専門研修を開始する理由

## ～精神科と内科の融合こそが未来の総合診療のあるべき姿～

私は 2012 年に医師免許を取得し、2017 年日本プライマリケア連合学会の家庭医療専門医の資格を取得しました。その後は内科を主な診療科とするくわみず病院（熊本県民医連）に勤務し、病棟、外来、訪問と地域医療の担い手として日々の診療に精を出しております。

家庭医療（総合診療）とは、患者さんの抱える問題を身体のみで考えるのではなく、精神、社会も見据え、トータルとして解決を図る診療スタイルをとります。診察室にやってくる患者さんの背中には多くの人たちの姿が透けて見えます。その文脈を感じながら、完璧ではなくとも何とか中庸を目指して伴走していく役割を果たします。

アルコールがやめられない、家族間のトラブルもある。さて断酒が前提で前に進めるか。場合によっては飲みながらでもどこかに落とすところがないか、そんな現実的な方向に向かい、本人家族と“もやもや”しながら前に進んで行く医療です。

社会の成熟に伴って精神的サポートを必要とする機会はますます高くなり、身体疾患そのものが精神との相互作用で成り立っている現実を目の当たりにします。

家庭医療（総合診療）はどちらかといえば内科というより精神科のエッセンスが強い診療科のイメージをお持ちいただけるのではないのでしょうか。

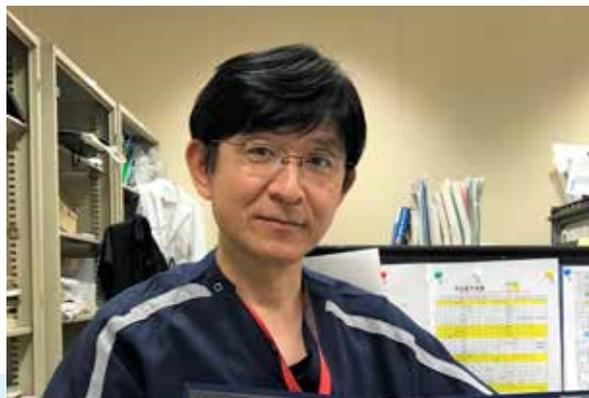
しかし現在の総合診療研修では精神科の割合は少なすぎると感じています。一方、新専門医制度の開始後に総合診療を選択する専攻医は少数であり厳しい現状です。一つの原因として総合診療専門医からのサブスペシャルティ領域の少なさが足を引っ張っていると思われま

しかし若手医師の総合診療領域に対する注目度は極めて高く、そして精神科も根強い人気を維持しています。もしこの2領域が融合されれば、将来必要となる理想的な医師像の実現

への今後の強力な医療モデルとなりえます。

ここで重要なのは“融合”です。単なる2診療科の“合体”ではありません。

1人の医師が両方の領域を学び、個人の中で醸造し融合させていく。これ



小林 真一 医師

- 2012年3月熊本大学医学部卒業
- 2012年4月より京都民医連中央病院にて初期研修
- 2014年4月よりくわみず病院にて家庭医療後期研修
- 2017年10月家庭医療専門医資格取得
- 2020年4月より熊本県民医連・菊陽病院にて精神科専門研修開始



が実現されればあらゆるフィールドで色と形を変え、その場に必要とされる様々な医療サービスが提供できます。

前置きが長くなりましたが、今回私は 2020 年度より精神科病院である菊陽病院（熊本県民医連）で精神科専門研修を開始する理由は、上記戦略を自ら実践し、果たしてその目的が達成できるか確かめることにあります。

さらに言えば精神科の病院と内科の病院を将来的に融合させる戦略とも言えます。

超高齢社会、医療費の破綻を考えるに、この戦略以外には日本の将来の医療選択肢はないと強く感じます。まずは試してみましょ。ご賛同いただける方がいらっしゃったら、ぜひ一緒にチャレンジしましょう！



# 精神科研修ができる病院紹介

## 林道倫精神科神経科病院

メンタルヘルス対策に力を入れています。

林病院では、2003年より「岡山EAPカウンセリングルーム」を開設し、メンタルヘルスに関する取り組みを始めています。EAPとは employee assistance program の略で、企業と契約し、企業で働く社員と家族のメンタルヘルスに関する相談、2015年度から始まったストレスチェック、企業でのメンタルヘルスに関しての講演や講習会などを行っています。

産業医資格を持った医師も数人おり、メンタルヘルスに関しては様々なことが学べる環境です。



## 菊陽病院

精神科スーパー救急取得(2010年)、医療観察通院指定(2005年)と重症者の社会復帰支援に力を入れています。

また依存症治療に特化した病棟があるなど、アルコールをはじめ、近年はギャンブル・薬物など様々な依存症の治療に取り組んでおり全国から相談が寄せられています。

当院は急性期や依存症患者さんの退院までの様々な過程、多職種協働による治療が学べます。

## 藤代健生病院

平均外来数は、青森県内の精神科外来患者数の約2割にあたる約160名となっており、北東北地域の精神科医療の中核病院として中心的な役割を果たしています。

また、急性期治療病棟を中心に入院精神科医療全般を学ぶことができます。生協の病院でもあるため、病院を支えている組合員の地域活動を通じて地域精神医療を直に学ぶことが可能です。

プログラムは精神科単科病院のほか、総合病院の精神科、併設された精神科クリニックで構成されており、所在地も弘前市、青森市、北海道札幌市、東京都渋谷区と多岐にわたります。そのため、対応する疾患の傾向、重症度、年齢層など患者側の要素のほか、各施設の持つ機能、伝統、立地条件なども異なっているため、最終的にはいずれの場でも柔軟に最適な診療を行えるだけの総合的な能力を身に付けることができます。

## みさと協立病院

埼玉県三郷市北部にあって、これまで慢性疾患・精神疾患・障がい者の地域生活への復帰を行ってきています。内科領域では、回復期の医療とリハビリテーションを、他病院や在宅医療との連携を密にして切れ目なく進めています。精神科領域では、2018年度にて入院医療を休止しましたが、生活臨床の継承・発展を目指し、また地域生活支援を中心とした実践を重視し、多職種の専門的知識と技能が発揮できるチーム医療とリエゾン診療をすすめています。

## 吉田病院

奈良県初の精神病院として1928年に創設され、時代を先取りして「人権尊重・開放化推進・社会復帰活動・外来地域重視の精神医療」を実践してきました。現在は精神科スーパー救急病棟から認知症病棟、99床の一般病棟(内科、外科、眼科)も併設しています。奈良県有数の外来患者数と、デイケア・訪問看護ステーション・精神障害福祉事業所群を有しており、急性期から社会復帰、地域生活支援までトータルにサポートすることができます。

### 精神科研修病院概要・問い合わせ先



#### 津軽保健生活協同組合 藤代健生病院

診療科目…精神科・神経科・内科・リハビリテーション科・放射線科

病床数…248床(実稼働225床)(精神科急性期治療病棟・精神科一般病棟・認知症治療病棟)

アクセス…〒036-8373 青森県弘前市藤代2-12-1 研修・実習・見学のお問い合わせ…0172-36-5181 <http://www.fujisiro-hp.info/>



#### 医療法人財団東京勤労者医療会 みさと協立病院

診療科目…内科・精神科・リハビリテーション科・人工透析(国立国府台病院でのみさと協立病院重点プログラム)

アクセス…〒341-0016 埼玉県三郷市田中新田273-1

研修・実習・見学のお問い合わせ…048-959-1811 <http://www.tokyo-kinikai.com/misato/m02/01.html>



#### 社会医療法人平和会 吉田病院

診療科目…内科・外科・整形外科・婦人科・泌尿器科・循環器科・呼吸器科・消化器科・精神科・神経科・放射線科・眼科・肛門科・リハビリテーション科

病床数…312床(精神科213床/一般科99床)

アクセス…〒631-0818 奈良県奈良市西大寺赤田町1-7-1 研修・実習・見学のお問い合わせ…0742-45-4601 <http://heiwakai.or.jp/>



#### 公益財団法人林精神医学研究所 林道倫精神科神経科病院

診療科目…精神科・神経科・内科・心療内科・歯科

病床数…278床(精神科急性期治療病棟・精神療養病棟・精神科一般病棟)

アクセス…〒703-8520 岡山市中区浜472番地 研修・実習・見学のお問い合わせ…086-272-3740 <http://www.hayashi-dorin.or.jp/>



#### 社会医療法人芳和会 菊陽病院

診療科目…精神科・神経科・内科・歯科 病床数…315床(精神科救急・精神科急性期・精神療養・精神科一般病棟)(応急指定・臨床研修病院)

アクセス…〒869-1102 熊本県菊池郡菊陽町大字原水5587 研修・実習・見学のお問い合わせ…096-232-3171 <http://www.kikuyouhp.jp/>

[日本専門医機構認定施設、精神保健指定医取得可能]